



平成 22 年 1 月 22 日

各 位

株式会社マーベラスエンターテイメント  
代表取締役社長 中山 晴喜  
(コード番号：7844 東証第二部)  
問 合 せ 先  
執 行 役 員 中山 郁 伸  
電 話 番 号 03-5769-7447

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### I. 業績予想の修正

##### 1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,300	300	240	100	810.50
今回発表予想(B)	8,000	△1,700	△1,760	△1,700	△13,934.43
増減額(B-A)	△2,300	△2,000	△2,000	△1,800	—
増減率(%)	△22.3%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績	10,139	△1,238	△1,308	△1,221	△14,567.14

##### 2. 修正の理由

当社の主軸事業の一つであるデジタルコンテンツ事業を取り巻く環境は、一昨年来の世界的な金融危機に始まった景気の停滞感にも顕著な改善は見られず、国内経済においてデフレが進行する中で、小売店におけるゲームソフト受注は一部の大型タイトルに集中し、海外においてもゲームソフトの店頭販売価格が大幅に値引きされるなど、予想を超えて厳しい環境となりました。

このような状況下、当社においては新たなオリジナルシリーズの創出とブランド力の確立に向けて、ワールドワイド向けの大型タイトルの投入に注力してまいりましたが、厳しい販売環境下において海外を中心に販売計画を大幅に下回る見込みとなりました。また、現状の厳しい市況を鑑み、特に海外市場における将来の販売計画の見直しを行った結果、それらに係るコンテンツ資産の評価減(7億28百万円)を売上原価に計上するとともに、複数タイトルの発売中止や発売延期の判断を余儀なくされ、収益を圧迫いたしました。

また、このような急速な市況の変化を受けて、海外展開についての経営方針の見直しや、徹底的な経営効率の向上を図るため組織再編及び採算性の低い分野からの撤退を検討した結果、当社が株式の100%を保有する株式会社デルファイサウンドの全株式を、また当社が株式の50%を保有する英国子会社 Rising Star Games Limited の全株式を、共に平成 22 年 1 月末までに売却することいたしました。これらの組織再編に伴い連結決算上は子会社売却益(1億22百万円)が特別利益として発生する見込みです。加えて、連結子会社株式会社アートランドの今後の業績見通しを勘案した結果、同社に係る減損損失(47百万円)が特別損失として発生する見込みです。

なお、個別案件ごとの影響額につきましては、本日発表の「コンテンツ資産の評価減及び貸倒引当金繰入並びに特別損益の発生に関するお知らせ」及び「連結子会社（株式会社デルファイサウンド）の異動に関するお知らせ」並びに「連結子会社（Rising Star Games Limited）の異動に関するお知らせ」をご参照下さい。

これらを主因とし、通期の業績予想につきましては、前回発表の数値を下回る見込みとなりました。

## II. 役員報酬の追加減額について

二期連続の大幅な計画未達及び連結純損失を計上する見込みとなった経営責任を厳格に受け止め、現在実施している役員報酬減額について、以下のとおり継続並びに追加減額を実施いたします。

### 役員報酬の追加減額

対象者	これまでの減額内容	追加減額内容
代表取締役	月額報酬の 20%を減額	左記より追加で 57%、総額 77%を減額
取締役	月額報酬の 15%を減額	左記より追加で 10%～28%、 総額 25%～43%を減額
執行役員	月額報酬の 10%を減額	左記より追加で 5%～7%、 総額 15%～17%を減額
対象期間	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月まで	平成 22 年 1 月～平成 23 年 3 月まで

## III. 今後の対応

今回の業績予想の修正における主因となったデジタルコンテンツ事業におきましては、これまで、ワールドワイドで通用するオリジナルシリーズの創出とブランド力の確立に向けて、欧州・北米における自社発売体制の確立と新規タイトルの開発に注力してまいりました。しかしながら、海外における販売価格の下落など販売環境が急速に悪化する中で、海外展開の見直し及びより厳格な開発投資の絞り込み等、大幅な経営方針の転換が不可欠となりました。具体的には、欧州・北米における自社発売は当面撤退し、今後はライセンス販売による作品供給を主体とすることで、海外販売リスクを極小化いたします。国内発売タイトルにつきましても、過去実績のあるシリーズタイトルを中心としたポートフォリオとし開発投資の更なる絞り込みを行うことで、確実な利益体制への転換を図ります。かつ、それらの安定的な利益体制のもと、ソーシャルアプリやブラウザゲームなど新たな成長市場へと限られた経営資源を集中投下することで、中長期的な成長を目指してまいります。

音楽映像事業や舞台公演事業におきましても、採算性の低い分野の整理を行いつつ、主力コンテンツである「ミュージカル『テニスの王子様』」シリーズ、「プリキュア」シリーズ、「家庭教師ヒットマン REBORN!」シリーズにより安定的なポートフォリオを構築し、加えて、それらに変わる新たなコンテンツの発掘や、ライブラリを活用した配信市場等の開拓を進めてまいります。

また、財務体質の改善・強化を最重要課題として、経営資源の集中と選択により投資を絞り込み、より一層の効率化を目指す中で、採算性の低い分野からの撤退を推し進めるとともに、営業・経営の規模に照らし合わせた合理的な組織への転換に向けて、柔軟な再編を行ってまいります。

尚、平成 23 年 3 月期（来期）の業績予想につきましては、平成 22 年 5 月 14 日に発表させていただく予定です。

### ※ 業績の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上